



警察学校の授業に参加し、刺股の効果的な使い方学ぶ大学生（右手前）

幅広い警察業務 学生が模擬体験

県警インターンシップ

大学生を対象とした県警の本年度インターンシップが8月31日、青森市の県警察学校で始まった。青森中央学院大と八戸学院大から

青 森

参加した男女4人が7日までの計5日間、刑事や警備、交通など各部門の実際の仕事を模擬体験し、警察業務への理解を深める。

初日は警務部門の講習が行われ、特殊詐欺や窃盗被害への注意を呼びかける広報ポスター作りなどを体験。警察学校の授業にも参

加し、刺股の構え方や効果的な使い方といった犯人確保の方法を学んだ。

警察官志望の八戸学院大3年、佐々木ひろさん（20）は「警察の仕事は犯罪や事故の捜査だけでなく、業務内容が幅広いと知ることができた」と語った。

（工藤槇子）